

氏 名：小池 洋子
学 位 の 種 類：博士(看護学)
学 位 記 番 号：博看護第6号
学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当
学 位 論 文 題 目：病棟師長の看護管理者コンピテンシーを含む看護実践環境と看護師の
ワーク・エンゲイジメントとの関連
研究指導教員：佐々木 美奈子
研究副指導教員：李 延秀
論文審査委員：(主査)谷本 真理子 (副査)廣島 麻揚
(委員)坂本 すが (委員)荒木 暁子

論文審査結果の要旨

小池洋子氏の博士論文は、4名の審査委員による口頭試問により厳正に審査された。

本報は、今後進む少子高齢化による看護師不足を見据え、看護師のワーク・エンゲイジメントを高めるための方策を検討する必要があるとの問題意識に基づき、病棟に勤務する看護師が認識する病棟師長の看護管理者コンピテンシーを含む看護実践環境と看護師のワーク・エンゲイジメントの関連を明らかにすることを目的に取り組まれた研究である。

群馬県内の全病院の病棟看護師を対象にウェブ調査を行い、28病院606名の結果について、国公立・公的病院、民間病院に勤務する病棟看護師が認識する看護管理者コンピテンシー得点と看護実践環境との関係、ならびに病棟看護師のワーク・エンゲイジメントとの関係が解析された。その結果、民間病院と国公立・公的病院に勤務する看護管理者コンピテンシーが低いこと、地域包括・回復期リハ病棟は一般病棟よりも低いこと、看護実践環境の「看護実践の支援と適正な評価が得られる環境」「看護師が他職種と連携・協働できる環境」「人員配置が整っている環境」が整っていると病棟看護師のワーク・エンゲイジメント得点が高いことなどが明らかにされた。

本報は、看護師長の看護管理者コンピテンシーと病棟看護師のワーク・エンゲイジメントの関連について、病棟看護師の認識から明らかにしたところに新規性がある。また、緻密な統計解析により結果を導き、地域医療を担う病棟看護師のワーク・エンゲイジメントを高めるための看護管理者コンピテンシーの向上に向けた方策の検討がなされていることは、少子高齢化が進む社会において意義深い。

本報は、学術的価値および社会的価値は高く「博士論文として認定できる」と判断する。

令和6年1月31日

論文審査委員（主査）氏 名 谷本 真理子